昭和40年4月5日第三種郵便物認可
（旧「公衆衛生」）

2016年11月1日発行
第590号（通算）
発行：奇数月1日
会員購読料：1月10円(年間60円)
一般購読は別途送料

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

環境と健康

発行者
一般財団法人 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
広島県環境保健協会
佐藤　均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号　730−8631
電話　082−293−1511番
振替口座01380−2−27511
URL　http://www.kanhokyo.or.jp/

平成28年度環境啓発ポスター・標語コンクール

小中学生から3万7千点の応募

10月4日、「平成28年度環境啓発ポスター・標語コンクール選考委員会」が公衆衛生会館で開催され、入選作品77点（ポスター38点、標語39点）が選定されました（**入選作品は2面参照**）。

テーマは昨年に続き「私たちがすむ地球を守ろう」。県内24公衛協が募集を行ったところ、小学校226校、中学校58校が参加して、3万6732点（ポスターは1万4611点、標語は2万2121点）の作品が集まりました。これらの作品は各公衛協で選考され、ポスター293点、標語350点が当協会に推薦されました。

選考委員会では、公衛協の推薦作品から77点の受賞作品を選出しました。推薦作品には、子どもたちの純粋な気持ちや思いが表現された、感性豊かな作品が多くみられました。作品の選考にあたっては、8人の選考委員がポスターと標語に分かれて審査を行いました。

選考委員のコメントは次のとおりです。

◆内田委員長（ポスター）

今年もまた、広島県内各地の小中学生の皆さんの素晴らしい作品に出会えて、楽しく充実した選考を務めさせていただきました。作品の視点も、少しずつですが、新しい題材へと広がっていって、新鮮さを感じました。また同じような題材でも、地域や学年によって捉え方や表現がさまざまに異なり、どれも興味深く感じました。中でも、自身の経験から生み出された作品は、いずれもその気持ちがとてもよく伝わってきました。

◆森嶋委員（標語）

今年も豊かで鋭い感性をもち、思ったことを素直に表現した多くの標語に出会いました。身の回りのさまざまな光景や日々の暮らしが表現され、また、地球の恵みに対する感謝の気持ちと思いやりが素直に表れており、作品に込められた子どもたちのメッセージは共通して謙虚です。ともあれ、表現されているのは子どもたちが望む「住みたい地球」です。未来を担う子どもたちに、少しでも良い形で地球を残すための努力をしなければと思います。

◆務中委員（標語）

今年も楽しく感心しながら選考しました。子どもたちの感性豊かな表現と、地球を守るため環境を改善していこうという決意のほどがうかがわれて、頼もしく思いました。特に中学校の部では、未来を見据えた活動の在り方を新たなキーワードで表現したものが多くみられ、昨年より一歩前進したように思いました。子どもたちの純粋な言葉には不思議な説得力があります。人々はその呼びかけに応えなければなりません。

◆東海委員（標語）

力作ぞろいで、楽しく読ませていただきました。ことしの特徴は「家庭での会話」を感じさせる作品が多かったことだと思います。親子で普段、こんなことを話しているのかな、と想像しながら選びました。環境問題は、とても身近で目の前にある課題です。このコンクールを機に、親子でもっと環境や省エネについて会話し、「こんなことしちゃ、いけんよね」「気を付けようね」と皆で行動に移す取り組みを広げてもらいたいと思います。

◆松井委員（ポスター）

今年も子どもたちが素敵なポスターを応募してくれました。県内の市町公衛協の審査を通過した293点の作品を拝見しました。年齢が上がると技術が高くなる傾向はありますが、年齢水準を超えた作品もあり、楽しく審査しました。自然保護・廃棄物削減・地球温暖化など訴求するテーマも多様で、感性豊かな力作ぞろいのため、選考は非常に苦労しました。この取り組みが子どもたちの環境を考える契機となり、具体的な行動につながることを期待しています。

◆髙尾委員（標語）

とても嬉しく、また驚いたことは、本当にたくさんの良い作品があったことでした。子どもだけでなく、生徒を指導された先生や学校の熱意にも感謝いたします。作品は、低学年では子どもの心の声が素直に表わされていることに感心しましたし、学年が上がるにつれ環境を学習したのだなとわかる標語が増えてくるのも面白い発見でした。自分の言葉で書いているなと感じられる標語が私は好きです。来年もまた、素晴らしい作品を期待しています。

◆福田委員（ポスター）

作品はどれも、その年代ならではの感性や興味が表れていました。ポスターは絵画とは違い、絵の表現だけでなく、キャッチコピーも大切です。漢字や英語を正確に書くことも求められます。ごみやリサイクル、節水節電などテーマが集中する中で、見る人の足を止め、考えさせる作品には独自の工夫が見られました。作品制作に取り組む中で、大小の環境問題に目を向ける機会となったことでしょう。みなさんの将来に期待します。

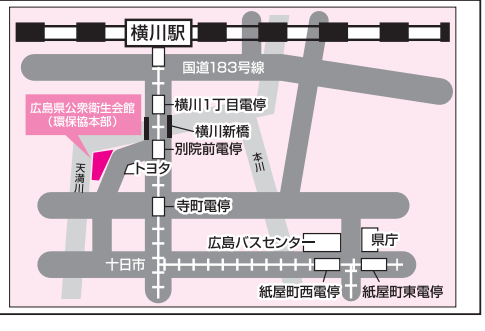
◆西村委員（ポスター）

このたび、初めて選考に参加しました。県内各地から推薦され、ずらりと並べられたカラフルで素晴らしい作品の数々には、子どもならではの感性やアイデアが満載で、環境保全に対する前向きな姿勢に感動しました！作品一枚一枚に込められた、地球環境に対する「やさしい気持ち」や「問題意識」が伝わってきて、ポスターのキャッチフレーズに込められた想いや、絵を描いている姿を想像しながら、楽しく選考しました。

琴線歌（きんせんか）

アルコール健康障害対策について

平成22年5月に開かれた世界保健機関（WHO）総会において「アルコールの有害な使用を低減するための世界戦略」が採択されました▼お酒は生活に豊かさと潤いを与え、その伝統と文化は生活に深く浸透していますが、不適切な飲酒はアルコール健康障害の原因となります。アルコール健康障害は本人の健康の問題であるのみならず、家族への深刻な影響や、飲酒運転やDVなどの重大な社会問題を生じさせるおそれがあります▼こうしたなか、平成26年6月に「アルコール健康障害対策基本法」が施行されました。この法律は、アルコール健康障害対策に関して基本理念を定め、国・地方公共団体の責務などを明らかにしたものです。また、国は平成28年5月にアルコール健康障害対策を総合的かつ計画的に推進するための計画とし、「アルコール健康障害対策推進基本計画」を策定しました▼このような動きを受けて、今年度、広島県では、アルコール依存症者、医療関係者、販売業者、健康増進事業実施者、警察、教育委員会等で組織される広島県アルコール健康障害対策連絡協議会を開催し、委員の方々の意見を聴きながら、「不適正な飲酒の防止により、本人の健康問題及び社会問題の発生を低減し、安心して暮らすことのできる社会を実現する」ため「広島県アルコール健康障害対策推進計画（仮称）」の策定を行う予定としています▼身近にあるお酒について、その喜びや楽しみを享受するためにも、アルコールに関連する社会問題について理解を深め、アルコール健康障害を予防し、悲しい事件・事故をなくしていきましょう。

（広島県健康福祉局健康対策課長　海嶋　照美）

一般財団法人 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
広島県環境保健協会
〒730-8631 広島市中区広瀬北町９番１号（広島県公衆衛生会館）
TEL:082(293)1511 ［大代表］ FAX:082(293)1520
かんほきょう 検索
基本理念 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。